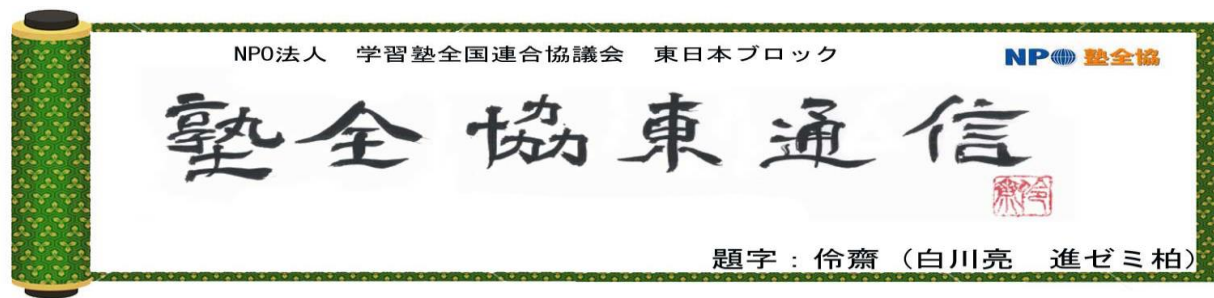


2021 年 7 月



【東日本ブロック役員一覧】

役員改選で次のような執行部になりました。よろしくお願いいたします。

役職名	代表者名	塾名	住所
全国会長	山下 典男	明修塾	岡山県倉敷市
全国事務局長	中村 基和	むさし野ゼミナール	東京都中野区
東日本理事長	内藤 潤司	ソロモン総合学院	埼玉県狭山市
東日本副理事長	稲葉 秀雄	秀和教育センター	千葉県柏市
東日本事務局長	中山 和行	中山塾	埼玉県比企郡鳩山町
東日本研修局長	星野 勝弘	オンフット進学会	千葉県柏市
東日本広報局長	中村 基和	むさし野ゼミナール	東京都中野区
東日本事業局長	星野 重治	総合学習塾マインズ	埼玉県越谷市
財務局長	山本 太志	四季青舎柏	千葉県柏市
千葉地区担当	星野 勝弘	オンフット進学会	千葉県柏市
埼玉地区担当	望月玄一郎	OMEGA 個別指導	埼玉県ふじみ野市

NPO 塾全協 オンライン経営研修会

折込チラシを補完するスマホ時代の PR 手法

CHALK Digital

日時：2021 年 6 月 9 日 12:00~13:00

場所：Web 上

講師：菅井陽介氏（中央教育研究所株式会社）

レポーター：中村基和

〔研修概略（「だ、である」調にしてあります。）〕

・星野勝弘先生による今回の研修内容の紹介

今年2月から3月にかけて今までの新聞折り込みチラシを全てやめて中央教育研究所の方からデジタルチラシというお話をいただいて、人柱というの兼ねてやってみようかと思い、実際やってみるとかなり反響があって、そのところも含めて最初に中央教育の菅井さんにシステムの事をお話いただいて、そのあと具体的に私の塾でこういう形でしたというのを皆さんに共有していただけたらと思っている。その後質問いただけたらと思っている。

・菅井氏からのプレゼン

「こんな時にオススメです！」・新年度に向けて新規に入塾生を増やしたい。・折り込みチラシの反応が下がっている点広告で他塾と差別化したい・広告経費を削減したい

これから定期テストの結果を踏まえて夏期講習までの間に塾を探す必ず増えてくると思うが、新聞の購読率が年々低下しているし、ポスティングに対する規制も多い。そこで口コミにもチラシにも頼らずいかにピンポイントで保護者の方に塾の情報を伝える方法が求められている。

CHALK DigitalはAIがスマホの検索履歴を調べて選定して塾の広告を出してれるというものである。新聞の購読率が年々低下している一方スマホの普及率は確実に増えている。CHALK Digitalは4万以上

バナーデザイン イメージ

学習塾・予備校キャンペーン

学習塾、予備校では、会社規模に関わらず従来の新聞折込チラシに代えて、さまざまな配信を実施して大きな効果を上げている。小学生の保護者は高年齢層は少ないため、新聞購読率が低く、スマートフォンの利用頻度、活用機会が高いと思われる。

- ・自社主催の全国テストの訴求。
- ・自社教室から周辺最大半径を3キロに設定し広告配信。
- ・JR山手線をドーナツ状に、JR東海道線を帯状にエリア指定し、車内吊り広告のイメージで広告配信。
- ・自社主催以外の統一テストの開催日に、テスト会場周辺に広告配信。



ある無料アプリの下の方に自塾のバナーを表示できる。今スマホでアプリを使う親御さんが増えている。

ご利用料金

すべて税抜き

オペレーション費用 (配信設定)	設定	小計
	初回	30,000
	2回目以降	25,000

インプレッション数※	標準単価	小計
50,000	2.5	125,000
100,000	2.2	220,000
300,000	2.0	600,000

↓

インプレッション数※	特別単価	小計
50,000	2.0	100,000
100,000	2.0	200,000
300,000	2.0	600,000

だいて、お届けしたい方にピンポイントでPRすることが出来る。生徒募集だけでなく模試や講師募集の公告にも使える。費用は左記の通りで、「インプレッション数」と書いてあるのはバナー広告の表示回数。バナー広告は塾で用意してくれれば」一切料金がかからない。

ご利用料金

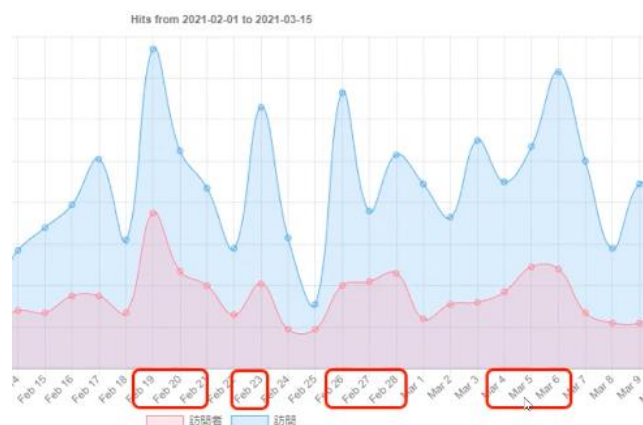
すべて税抜き

オペレーション費用 (配信設定)	設定	小計
	初回	30,000
	2回目以降	25,000

インプレッション数※	標準単価	小計
50,000	2.5	125,000
100,000	2.2	220,000
300,000	2.0	600,000

↓

インプレッション数※	特別単価	小計
50,000	2.0	100,000
100,000	2.0	200,000
300,000	2.0	600,000



・星野先生の話

毎年新聞チラシで 40 万位費用をかけていた。うちの塾は小中高対象で、一番多いときで 140 名くらい。募集の 2、3 月くらいだと 110 名くらいに減って、その後だんだん増えて言って 10、11 月頃ピーク(140 名)になるが、CHALK Digital をやったあと 30 名塾生が増え、問い合わせ自体は 50 名くらい。それは当然友達の繋がりもあるが、ホームページを見てという方が例年より増えた。今まで新聞チラシを 6 万 5 千枚まいて、「新聞チラシを見ました」というのは 4、5 人いるかいけないかという感じだった。左のグラフはホームページのアクセス数（ピンクはアクセス者数、ブルーはアクセスページ数）で、赤で囲った日付はバナー広告を出した日で、明らかにその日のアクセス数が多くなっている。今回は 1 万 2 千インプレッション×10 回で、初期費用を含めて宣伝費は 30 万円くらいで済んだ。（紙媒体の宣伝はやらなかった）

学校説明会レポート 2021 (その1)

目白研心中学・高等学校 (東京都新宿区)

日時：2021年6月7日(月) 10:30～12:00

レポーター：中村基和



目白研心中高は、1923年に研心学園として開校しました。当初は男子校でしたが、戦争で男子が兵隊にとられてしまっていなくなった結果女子校になり、戦後1948年に目白学園となりましたが、2009年より共学化して目白研心と改名しました。

塾全協初代東日本ブロック理事長、第4代全国会長の故田中幸穂先生は当初目白学園の先生。田中先生の塾には目白学園の先生が多数来られて教えていたそうです。

1990年代に募集担当(後に校長)をされていた香川雅則

先生は塾全協のために学校説明会を催したり、研修大会にパネリストとして出席いただいたり、理事会や研修会のために学校の教室やコンピュータールームを貸してくださったりと、塾全協のために色々尽力してくださいました。

さて、説明会は校長の松下秀房先生の挨拶から始まりました。生徒数は6学年918名(男子394名、女子557名)で安定していて、男子生徒の増加傾向が続いているとのことでした。気になる男子数のことですが、調べてみたら次のような数字がみつかりました。(2020年7月時)()内は学年全体の人数に対する男子生徒数の割合です。



中1 男子 16名(36%) 女子 29名

中2 男子 15名(37%) 女子 26名

中3 男子 13名(33%) 女子 27名

高1 男子 99名(42%) 女子 136名

高2 男子 106名(35%) 女子 193名

高3 男子 77名(35%) 女子 143名 確かに男子が増加傾向にあります。

大学入試実績は飛躍的に向上し、国公立と早慶上理はまだ1桁ですが、GMARCHは68名、日東駒専は116名となかなかの数字で、真ん中の子でも日東駒専に入れるようになったそうです。

次は教頭の齋藤圭介先生からの中高入試の説明。志願者は99名→133名と増加しました。既に合格していても、特待生を狙って、何度も受験可です。2科・4科の合格ラインは5割。適性検査型入試は富士、大泉のタイプに合わせてあります。その他英語スピーチ入試（合格ラインは英検3級）、算数特別入試（合格ラインは6割）、次世代入試（学力試験では測れない受験生のこれからの可能性を測る入試で、学級会のような話し合いが好きな受験生にはお勧め。）と多種の選抜方法があります。

高校入試の推薦、一般は面接なし、フリー受験は面接ありです。内申基準は以下の通りです。

総合コース				特進コース		
・内申に1がないこと ・3科・5科・9科のいずれかの内申基準を満たしていること（加算制度あり） ・1学期（前期）の成績でも入試相談可。				・内申に1がないこと ・3科・5科のいずれかの内申基準を満たしていること（加算制度あり） ・1学期（前期）の成績でも入試相談可。		
	3科	5科	9科		3科	5科
推薦（単願）	11	17	30	推薦（単願）	13	19
一般（併願優遇）	12	18	31	一般（併願優遇）	14	20

SEC(Super English Course)の基準は以下の通りです。

・内申に1がないこと ・英検準2級以上を取得していること ・3科・5科のいずれかの内申基準を満たしていること（加算制度あり） ・1学期（前期）の成績でも入試相談可。		
	3科	5科
推薦（単願）	12	18
一般（併願優遇）	13	19

加算ポイントは英検・漢検・数検と皆勤、部活の都・県大会出場、生徒会役員などです。

特待生は4段階に分かれていて5科内申は21～25、当日の試験の得点は70～90%以上です。

その次は進路指導部長の矢部隆宣先生からの「本校のコース制と大学進学実績」についての説明。

総合コースは私立文系受験科目に特化したカリキュラムで、理数はほとんどありません。一般受験での大学進学を目指します。

特進コースは国公立大学を視野に入れ、苦手科目がない、満遍なく出来る生徒にお勧めとのことでした。

SEC は海外大学進学を視野に入れた授業で、オーストラリア 70 日間語学研修を実施しています。

大学受験実績は前述のとおり GMARCH と日東駒専が著しく伸びています。

最後に共闘の吉田直子先生から「目白研心の教育」の説明がありました。

中学の英語は週 7 時間で、4 時間は日本人教員に、3 時間はネイティブ教員（専門教育を受けてレベルの高い人）による ALL ENGLISH に授業で、クラスは 2 分割（15 人以下）です。ネイティブ教員は普通はネイティブ派遣会社から派遣される人が多いのですが、どんな人が来るかわかりません。不良外人が来ることもあると聞いたことがあります。目白研心は独自採用で、本国で教員免許を所持している人か TESOL の有資格者のみの採用となっています。高校の英語ですが、オンライン英会話やネイティブによる少人数制授業の他、注目すべきは高 3 理系の週 2 時間の理系英語学習です。私も指導経験がありますが、理系の英語入試問題は理系の論文が出題されることが多いので、それに慣れている必要があります。これはなかなか良い企画だと思います。

以上、久しぶりに行った目白研心学園でした。ご存じの方も多いと思われますが、かつては偏差値 40 前後の学校でした。入試問題も素直なので受けたらと勧めた生徒が落ちてしまったことがありました。当時教頭をされていた香川先生に電話で尋ねたところ、「少子化時代の生き残りのためにレベルアップをする必要があります、そのためには定員割れをしても足切りを厳しくしたいと理事会に要請したところ承諾されたので今年からそうしました。」とのことでした。それから数年後、偏差値は 60 までアップしました。その後平成不況や都立の復活で多少レベルは落ちてしまいましたが、SELH の指定校になることや共学化と諸改革で持ち直し、今後の実績が期待されます。女子校から共学化した学校を色々見ましたが、多くの特色は、男子生徒数が高校ではだんだん半数に近づいているが中学校はまだイマイチであることです。このあたりが今後の課題かと思います。

NPO 塾全協 イベントのご案内

9月19日（日）

東京 進学相談会 新宿 NS ビル

9月26日（日）

埼玉 進学相談会 川越プリンスホテル

10月3日（日）

千葉 進学相談会 流通経済大学松戸キャンパス

編集 NPO 塾全協東日本ブロック事務局長 中山和行

〒350-0322 埼玉県比企郡鳩山町今宿 553-1

TEL 49-296-1111 fax 049-298-3405 E-mail gyqbt650@ybb.ne.jp

NPO 塾全協東日本ブロック HP <http://www.jzk-east.com>